

【1日目：2017年9月6日（水）】

9:00-9:30 受付

9:30-9:40 開会の辞

9:40-10:50 セッション1：国際競技大会の開催

モデレーター：Christian Schwarzenegger氏（チューリッヒ大学教授）

スピーカー（20分）：室伏広治氏（東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 スポーツディレクター）「東京組織委員会 - 日本の視点からの東京オリパラへの挑戦 - 」

スピーカー（30分）：Stephan Netzle氏（スイス国弁護士）「スポーツイベントのコアバリューの保護」

質疑応答（20分）

10:50-11:00 休憩

11:00-12:30 セッション2：世界アンチ・ドーピング規程の履行

モデレーター：早川吉尚氏（立教大学教授、弁護士）

スピーカー（20分）：浅川伸氏（日本アンチ・ドーピング機構 専務理事・事務局長）「東京オリパラにおけるアンチ・ドーピングの問題」

スピーカー（20分）：杉山翔一氏（弁護士、日本スポーツ仲裁機構 仲裁調停専門員）「2015年世界アンチ・ドーピング規程改訂により新たに生じた問題点」

スピーカー（30分）：Stephan Netzle氏（前出）及びUlrich Haas氏（チューリッヒ大学教授）「ロシアドーピングスキャンダルの対策 - 現状と学ぶべき教訓 - 」

質疑応答（20分）

12:30-14:00 休憩（昼食）

14:00-15:20 セッション3：国内アンチ・ドーピング法の制定

モデレーター：小川和茂氏（立教大学特任准教授、日本スポーツ仲裁機構 理解増進事業専門員）

スピーカー（30分）：今泉柔剛氏（スポーツ庁国際課長）「日本のアンチ・ドーピング法の起草」

スピーカー（30分）：Christian Schwarzenegger氏（前出）及びGian Ege氏（チューリッヒ大学助教）「刑事法とドーピングとの闘い-刑事法化と手続的措置」

質疑応答（20分）

15:20-15:30 休憩

15:30-16:50 セッション4：ガバナンスとインテグリティ

モデレーター：望月浩一郎氏（弁護士）

スピーカー（30分）：小川和茂氏（前出）「日本のスポーツ団体のガバナンスとインテグリティ」

スピーカー（30分）：Egon Franck氏（チューリッヒ大学教授）「クラブファイナンシャルフェアプレイ - 財政的観点からのグッド・ガバナンス」

質疑応答（20分）

17:30-19:30 レセプション（場所：立教大学／会費：4000円）

【2日目：2017年9月7日（木）】

9:30-11:20 セッション5：スポーツ仲裁

モデレーター：早川吉尚氏（前出）

スピーカー（30分）：Stephan Netzle氏（前出）及びUlrich Haas氏（前出）「スポーツ仲裁に至る前の団体内紛争解決制度」（仮）

スピーカー（30分）：Stephan Netzle氏（前出）及びUlrich Haas氏（前出）「スポーツ仲裁の『スピード』について」（仮）

スピーカー（30分）：Stephan Netzle氏（前出）及びFelix Dasser氏（チューリッヒ大学教授）「スポーツ仲裁におけるスイス法の重要性」（仮）

質疑応答（20分）

11:20-11:30 閉会の辞